

**メイド・イン・ジャパン・ソフトウェア・コンソーシアム、
ユーザビリティ向上を目指し、「製品連携」実績を発表**

市場で有力な製品を持つ国産ソフトウェアベンダー13社が集結した「メイド・イン・ジャパン・ソフトウェア・コンソーシアム」（事務局所在地：東京都港区 ソフトブレン株式会社内、以下MIJS）は、このたび、MIJSのメインテーマの一つである「製品連携」の実績について発表いたします。

MIJSは、日本のソフトウェアを代表する参加企業が持つ製品の相互連携を推進し、システム構築の効率化とユーザビリティ向上を目指し活動を開始いたしました。また、日本に限らず「海外展開」を視野に入れ、今後も積極的に活動を行なってまいります。各分野で高い実績と信頼性を誇る各製品の連携は10を数えます。既存および新規の製品連携実績は下記のとおりです。

■ 製品連携（2006年11月7日現在）

連携モデル	製品 A (会社)	製品 B (会社)	連携内容・アピールポイント	発表日
会計－ 販売管理	<i>SuperStream</i> (エス・エス・ジェイ)	SOLViT (ウッドランドグループ エルム)	販売管理「SOLViT」から仕訳データを <i>SuperStream</i> に連携し、 <i>SuperStream</i> 会計・労 務ワークフローから SOLViT へ経費・工数デー タを連携。	2006年11月
SFA-BI	e セールスマネージャ ー (ソフトブレン)	Dr.Sum EA (ウイングアーク テク ノロジーズ)	SFA で日々発生する営業プロセス情報を BI で 可視化し、マネジメント力を高めるとともに、 営業担当者へ「気づかせる」ことを実践するた めの連携。	2006年10月
SFA-MBO	e セールスマネージャ ー (ソフトブレン)	MBO SYSTEM (構造計画研究所)	SFA に蓄積された営業の活動実績などと MBO との情報連携により、営業関係者の人事評価 を定量、定性 の両面から評価することを可能 にする。	2006年6月
ERP－ 帳票	GRANDIT (インフォベック&システ ムインテグレータ)	SVF/RDE (ウイングアーク テク ノロジーズ)	大規模 ERP では、大量帳票や分散印刷などの 帳票機能が必要となる。これらのニーズをカバ ーするための帳票集をアドオン提供する。	2006年6月
会計－ 生産・販売 管理	<i>SuperStream</i> (エス・エス・ジェイ)	MCFrame (東洋ビジネスエンジ ニアリング)	生産管理「MCFrame」から仕訳データを <i>SuperStream</i> に連携。会計系、SRM 系を SOX 法対応も視野にいれて、シームレスに連携する ことが可能。	2006年6月
SFA-Ajax	e セールスマネージャ ー (ソフトブレン)	Ajax コンポーネント (HOWS)	e セールスマネージャのフロントエンドに HOWS の Ajax コンポーネントを適用することで、 アクティブな描画や快適な画面表示などユーザ インタフェース向上を実現。	2006年5月
BI-EAI	Dr.Sum EA (ウイングアーク テク ノロジーズ)	DataSpider Servista (アプレッソ)	多次元で高速集計・分析できる Dr.Sum EA に、 データ連携ツール DataSpider Servista を組み 込み、基幹システムなどからデータを容易に取 り込める。	2006年5月

会計－ 生産管理	<i>SuperStream</i> (エス・エス・ジェイ)	R-PiCS (リード・レックス)	生産管理「R-PiCS」から仕訳データを <i>SuperStream</i> に連携。R-PiCS の債権管理、債 務管理から自動仕訳処理により <i>SuperStream</i> に仕訳連携される。	2006 年 3 月
帳票-EAI	SVF/RDE (ウイングアーク テク ノロジーズ)	DataSpider (アプレッソ)	帳票ソリューション SVF・RDE とデータ連携ツール DataSpider が連携し、アプリケーション層と 切り離れた全社システムで共有できる帳票出力 基盤の運用一元化をはかる	連携実績有
ERP-BI	NewRRR (ウッドランドグループ ワイズウェア)	Dr.Sum EA (ウイングアーク テク ノロジーズ)	ERP「NewRRR」で作成されたデータを利用し て、「Dr.Sum EA 」上で分析できる。クライアント 自身の分析(OLAP)、データマイニングを可能 とする。	連携実績有

■ MIJS について

MIJS は、ソフトウェアベンダーの側から、ビジネスに対する IT の顧客満足度に応えるため、市場で求められるソフトウェアの製品間連携によるシステム基盤を構築し、国内・海外に向けて「日本のソフトウェア」に対する優秀性の認知向上、市場におけるビジネス基盤の強化をはかります。

- (1) ソフトウェアのジャンルごとに製品間のインターフェイスを整備して標準化をはかり、業種業態を問わず SOA をベースに今後のサービスのモデルへもつなげていく。MIJS に参画する企業は、顧客ニーズの多様化を吸収する製品連携をコンソーシアムが策定する基盤上で実施する。
- (2) MIJS は、国産ソフトウェアプロダクツの内外の競争力を高める基盤づくりと、市場への訴求、顧客ニーズを取り込んで参画企業へフィードバックし、製品サービスの強化を推進する。

これにより、MIJS は、国内ならびに海外に向けて「日本発」のソフトウェアによるビジネススキームを構築していきます。

URL : <http://www.mijs.jp>

■ その他資料

マスコミ各社様向け画像ページ
<http://www.mijs.jp/logo/logo.html>

《本件に関するお問い合わせ先》

MIJS 事務局担当 根岸

TEL : 03-6714-2914 FAX : 03- 6717-5835 E-mail : info@mijs.jp

※本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。